

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり昭和電線グループの皆様にご挨拶を申し上げます。

1. 長期ビジョンと新たな中期経営計画

「昭和電線グループの長期ビジョン」の検討を進めています。また、更なる飛躍を目指して2018年度からスタートする新たな中期経営計画を立案しています。新しい中期経営計画においても、構造改革と成長分野への取り組みの強化は事業の両輪です。凄まじい速さで変化する社会や市場に迅速に対応するためグループの次世代を担う若い力を結集し、意志を持った中期経営計画を立案して行きます。将来に向け、存在感を高め、勝ち残る強い決意を持って立案・実行するようにお願いします。

2. 企業として絶対に守らなくてはならないこと

まずは【法令順守、コンプライアンスの徹底】です。昭和電線グループの従業員は全ての法令違反からの決別を断固として継続貫徹しなくてはなりません。2番目は【品質管理の徹底】です。製造業として品質管理の徹底は会社存続のための生命線です。現場からトップまで情報の共有化を計ることにより、常に小さな課題でも迅速に対処する考動を執って下さい。3番目は、【安全衛生、労働災害の撲滅】です。安全衛生や労働災害の撲滅に、特効薬はありません。日々、スタッフが現場と対話することで、災害の芽を愚直に摘んで行く作業の繰り返しです。4番目は、【環境保全の推進】です。我が社の2018年度の環境方針の重点テーマは、殆ど皆様が日々直接・間接的に関わっているテーマです。4項目全てについて、時間は掛っても、愚直に対処・対応することにより、必ず自社の業績に繋がってくることを信じて、真摯に向き合って貰うようにお願いします。

3. イノベーション推進センターの設立

中期経営計画を推進するために2018年1月1日付けで昭和電線ホールディングスに社長直轄の「イノベーション推進センター」を設立しました。ミッションは、技術開発に関する企画、および事業化までの企画・運営です。各種プロジェクトの履行に当っては、センターがグループの横串機能として、新規開発・事業化へのリーダーシップを執って行きます。

4. 働き方改革の定量的管理

最後に働き方改革の定量的管理です。働き方改革のポイントは、会社の生産性を高めることであることは何度もお伝えして来ました。仕事と家庭や介護との両立。自宅や外出先でのテレワーク。イノベーション創出に向けた交流・提携等々によって、限られた時間の中で個人の努力が会社の成果へと繋がるというダイナミックな関係を目指していきたいと思っております。

昭和電線ホールディングス株式会社

取締役社長 中島 文明

この件に関するお問合せ先：

経営企画部 法務・IR広報グループ

TEL 044-223-0520